

## 今回の取組み

### 《部会の目的と役割》

- ・「復興を加速させること」が最大の目的。進行管理をすることが目的ではなく、進行管理によって「改善していくこと」が重要。
- ・個別事業の進捗評価ではなく、分野での課題等を共有し、課題解決のため解決策や改善策について検討。
- ・立場や考え方の違いはあるとしても、同じ「復興の担い手」として、一体となって議論

### 分野ごとに議論のテーブルを固定

#### 生活再建①

- ・賠償
- ・就労、事業再開
- ・町外コミュニティ

#### 生活再建②

- ・健康管理
- ・教育、子育て
- ・避難生活支援

#### ふるさと再生

- ・除染
- ・インフラ復旧
- ・津波被災地復興

町民委員  
グループ1

町民委員  
グループ2

町民委員  
グループ3

2時間ごとにテーブルを移動

### ・全8回の開催

- 第1回 体制及び進め方検討
- 第2回～6回 分野別に検討
- 第7回 提言書の取りまとめ
- 第8回 提言反映状況確認

### ・各グループ9コマ(3分野×3項目)

- 述べ、27コマ(3グループ×9コマ)
- 述べ、54時間(27コマ×2時間)

- ・参加者数 49名
- 有識者 3名
- 町民委員 26名
- 町職員 16名
- 国・県職員 4名

### 《第7回部会で皆さんから頂いた次年度以降の体制についてのご意見》

- ・次回はもっと**人数を絞っても良い**と思う。(参加人数は日によって違うので最低限の人数は確保する)
- ・9分野をすべて討議するのではなく、特に問題となっている**分野を絞って実施**。
- ・復興に向けて、第一歩が進んでいるので、**一般的な意見を幅広く取り入れすぎるのはよくない**のでは。
- ・ジャンルによっては**知識のある方を優先して選出**することも必要と思う。
- ・専門性と具体性を持たせた活動が必要であるので、**専門的な知見をもった方に入っていただく**。
- ・国や県、町の職員にも**立場を超えて**一人の人間として参加いただくことが望ましい。
- ・今回実施した**協働を次に繋げてゆく**ことが必要

## 次回からの取組み(案)

『浪江町復興計画【第一次】の進行管理についての提言』(平成25年11月 6日策定委員会から町へ提言)

5. これまで取り組んできた**町民協働による検討**をより**一層充実・発展**させていくためにも、町民の意向を反映していく中で、それぞれの**分野の専門家の参画を推進**し、専門的な見地からの意見も十分に取り入れていくこと。

### 各分野における具体的な検討(各課で実施)

農業

浪江町の農業・農地  
を考える会

水産

新しい水産業  
デザイン実現WG

健康

浪江町健康管理  
検討委員会

推進

浪江町復興推進  
委員会(仮称)

町外  
コミュ

町外コミュニティ(絆)の  
維持検討会(仮称)

町内  
住宅

町内復興住宅  
整備検討会(仮称)

...

・計画検討から具体策の検討実施の取組みへ

・各分野における具体的な検討については、各課において組織している、(設置を検討している)個別の検討会などで詳細を検討する

・各分野の具体的な検討についても“協働”での取組みに心がけ、それぞれが復興の担い手として一体となって議論していく

・専門的な知見を有する方を積極的に参画いただく。

町民協働による

### 浪江町復興推進委員会(仮称)

《構成(案)》

- ・町民委員
- ・役場職員
- ・国・県職員
- ・有識者



“協働”  
による取組み

《委員会の目的と役割》

・「復興を加速させること」が最大の目的。復興計画の着実な実施と課題解決のための改善策の検討

・復興計画のすべての分野を対象とするのではなく、分野ごとにワーキンググループや検討会を組織しているものについては、対象外とし、推進委員会で検討する項目を絞り込む。

・計画の進捗状況だけでなく、今回の提言にあった、「賠償と自立」「転出者に対する支援」など、具体的な方策が定まっていない、課題と解決策について検討する。